

# 福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞

TBSラジオ『メイコのいきいきモーニング』取材放送

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定

350 0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎049 230 1111 FAX230 1112

福音の園® Gospelgarden® は有限会社シャロンの商標

## ご家族の声

### 介護に当たるようになって二五年経過

「福音の園だより」最新号と共に、舅・お誕生日記念写真を拝受致しました。舅が無事に九七歳の新たな年を重ねることが出来ましたこと、ひとえに貴園スタッフ皆様のご配慮の賜物です。改めまして、心から感謝申し上げます。



思い起こせば、Mの両親のために介護保険を当該役所へ申請し、「要支援1」の認定を受けることから始めて、私が舅姑の介護に当たるようになりまして二五年が経過しました。今度の介護保険更新調査で、もし舅が「要介護5」のレベルに進むようでしたら、介護保険制度の初歩から最終段階まで全ての段階を見届けることとなります。

「福音の園だより」を拝読するたび、貴園へのご訪問者皆様がそれぞれのお立場で、キリスト教精神に基づいた貴園の介護支援体制に心打たれていらっしゃることを知り得ます。その暖かなご配慮の中で人生の最期の時を過ごせますこと、舅姑には何より

の心のやすらぎであると確信致します。あとしばらくの余命の日々、貴園スタッフ皆様にはますますお手数をお掛けすることになりますが、引き続き、ご配慮のほど宜しくお願い申し上げます。 M子

## 介護福祉士養成・介護実習生の声

### 親しみと信頼に満ちた関係の一端を

東京基督教大学キリスト教福祉学専攻3年。

去る三月初旬には、11日間の実習を受け入れて頂き感謝申し上げます。実習を振り返るとき、日常生活から(突発的なことではありましたが)看取りの現場まで立ち会わせて頂いた、「福音の園・川越」での経験が貴重なものであったことを思わされています。

実習で学ばせて頂いた事を、一言でまとめると、「共に暮らす」ということです。一つのフロアに、入居者とスタッフが、家族のように共同生活を営んでいると感じました。例えば、入居者とスタッフが同じキッチンで作った食事を、介助を行いながらも同じ時間に同じ場所で食べるということ。また、入居者のご家族との親戚同士のような親しみと信頼に満ちた関係の一端を見せて頂いたことなどから、感じました。

もちろん、介護のプロとしての身体介助が行われていたことは言うまでもありませんが、それ以上にきめ細やかに一人一人の個性を把握し対応されている事が印象深く心に残っています。たとえ寝たきりの方であっても、音楽が好きな方には日中、部屋にCDをかけておく。そんな些細に思える事が、人を人として尊重する介護の原点だと思わされました。

「人間を尊重する介護」のお手本として今後の学びに活かしたいと願っています。本当にありがとうございました。



## お便り紹介

風薫るさわやかな日々となっております。福音の園だより第113号読ませていただきました。毎号に感じる、心からの介護のあり方を目指す、使命感あふれる貴施設の究極なまでの取り組みには、どれ程頭を下げても足りません。



ご無沙汰ばかりですが、六月の中旬頃にはお伺い出来るかと思えます。後日、連絡致します。かしこ。

26・5・20 I・Y

## 理念・方針説明

### 喪失体験と希死願望のある方を支えて

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳

要介護者は多くの喪失体験 身体機能、友人、家族等を経ている。生きる意欲を失い希死願望がある方も少なくない。生涯で最も困難な時期を支え、今一度「生きる力」を引き出し、そして残された人生を満足して過ごせるような支援をするのが 介護支援専門員である。

先月、「埼玉県介護支援専門員協会・通常総会」基調講演で語られた一文です。厚生労働省老健局振興課の「お役人の口から発せられた一文だったことに、響心」。かつて「家族や社会からの孤立からくる孤独感、生きる目標の喪失による無力感や絶望感。それらから立ち直るためには、単に身体の機能回復訓練だけではなく、全人間的な援助が必要になってくる。」(『恵みの雨』2004.七月号)「リハビリ 全人間的な回復」と語っていたのでした。「強援軍を得た」ような高揚感を抱きながら、「二部・研究大会」で「地域とのきずな ホームと地域とが「つながる」ために」と題して発表しました。①。